

第3回定例会（決算議  
会）、10/17まで開催



# このまちとともに



久末大谷市営住宅跡地

区の不公平はなくすべき  
と2011年に質問、健  
康福祉局長は、一定の地  
域バランスを考慮した整  
備を検討すると答弁しま  
した。  
久末大谷市営住宅跡地  
に整備をと住民の皆さ  
んが要望書提出  
その後、住民の方々か

2015年度決算では、市税は3年連続増収で、初めて3千億円を超え、過去最高となりました。決算では、収支不足はなく、きわめて健全な財政となっております。しかし、今議会には、スポーツセンター、市民館等の施設利用料金の値上げ案や、通院医療費の助成を小学6年生まで延長することと引きかえに4年生以上は一部負担金（500円）を導入する小児医療費助成条例改定案が提案されています。市財政の収支がプラスなのに、なぜ負担増なのか等、市民の皆さんの声をもとに論戦します。

## 小学4年生から6年生までの医療費助成を拡大 4年生以上は通院ごとに500円（上限）負 担の改定案 来年4月から

市長公約は「無料化」でした  
一部負担金の導入は、「小学6  
年生まですぐに無料化する」とし  
た福田市長の公約に違反します。  
導入の理由は、「コンビニ受診を  
抑制」し、「医療費の増大と医師  
の疲弊を防ぐ」ためと市長は答弁  
しますが、親は、受診の必要があ  
る時しか病院に行きません。医師  
の疲弊は医師不足によるもので、

無料にすると疲弊するというのは  
実態に反します。厚労省の検討会  
において日本医師会常任理事の方  
は「コンビニ受診のような不適切  
な受診はない」と述べています。  
所得制限はそのまま継続  
2万5千人が対象外  
今年度、県下33市町村のうち、  
中学3年生まで無料が14自治体、小

## 高津区の特養ホームの整備が 前進することに 久末大谷市営住宅跡地に整備が決定

川崎市は久末大谷市営住宅跡地に、  
特別養護老人ホームの整備を決定し  
ました。定員100人程度、ショール  
トステイと地域交流スペースを設置。  
2017年度着工、2019年度開  
所予定です。

高津区の特養ホーム、突出して少  
ないと主張（2011年12月議会）

高津区の特養ホームは、全行政  
区の中で突出して少ない状況が10  
年余続き、2011年当時、全市37  
カ所・定員2964人のうち、3カ  
所・214人のみでした。石田市議  
は特養ホームは、ショールトステイや  
デイサービス等在宅介護  
を支える施設でもあり、



住民のみなさんが川崎市に要望書を提出

ら提案を受け、貴重な市有地である  
久末大谷市営住宅跡地に整備をと具  
体的に質問（2013年）、局長  
は、段差があるので活用の可能性を

左表は2016年4月1日現在の  
特養ホームの状況と待機者数です。

区	施設数	定員数	待機者数		
			なるべく早く なれる	いずれ	計
川崎区	7	549	751	217	968
幸区	7	775	531	174	705
中原区	7	515	439	135	574
<b>高津区</b>	<b>4</b>	<b>318</b>	<b>505</b>	<b>175</b>	<b>680</b>
宮前区	9	590	471	161	632
多摩区	10	828	439	218	657
麻生区	9	863	408	198	606
計	53	4438	3544	1278	4822

18年度中  
に1カ所  
開設予定

16年度中  
に1カ所  
開設予定

6まで15自治体がすべて一部負担  
金なしで無料です。一部負担金に  
よる保護者の窓口負担額は年1億  
5千万円程、財政が豊かな川崎市  
がそれだけの財源を確保するのは  
可能なはず。他の自治体できて  
川崎が出来ない訳はありません。  
しかも所得制限はそのまま、約  
2万5千人の子どもが助成から外  
されます。子育て世代の不公平感  
が広がり、行政への不信が高まる  
のではないのでしょうか。

### 共産党が修正案を検討

【小6まで全ての子どもが無料に】  
子育て世代のニーズにこたえ、  
所得に関係なく全ての子どもたち  
の命と健康を守るために、所得制  
限は撤廃すべきです。日本共産党  
は所得制限をなくし一部負担金も  
導入しない修正案をだす予定です。

予定です。

石田市議は完成しても、全市55カ  
所・定員4648人のうち、高津区  
は5カ所・440人でお最も少な  
い状態は変わらないと主張し、20  
15年にも久末大谷市営住宅跡地に  
整備をと2回質問し、宗田市議も先  
の6月議会で質問しました。住民の  
方々の要望に背中を押され諦めない  
でよかったです。

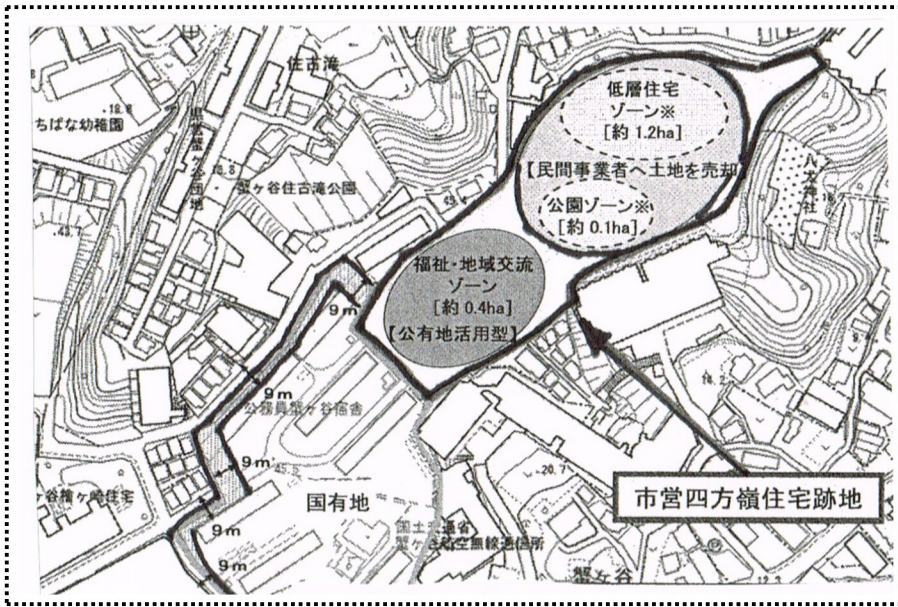
# 「市営四方嶺住宅跡地利用に関する基本方針」に特養ホームの整備が盛込まれる

川崎市は蟹ヶ谷の「市営四方嶺住宅跡地利用の基本方針」を示しました。跡地は3つのゾーンに分け、「福祉・交流ゾーン」(約0.4ha)として特別養護老人ホームの整備を盛り込み、規模は100床程度、ショートステイと地域交流スペースを設置、2020年度着工、21年度竣工、22年度開所予定です。高津区市議会議員懇談会が昨年度提出した2016年度の予算要望でも、跡地活用は地域住民の意見を反映させるよう要望しました。

## 公有地活用型の特養ホームの整備について

共産党議員団は、この間、公有地を活用して、特養ホームの整備を進めることを度々提案するも、市は、民有地の活用を基本としてきました。しかし、用地確保の困難性もあり、必要な整備数を満たしていない状況です。そのため、市は、土地購入費が生じない公有地活用型(無償貸付)による整備を図ること

高津区は他区と比べて特養のベッド数が少なく優先的に整備を進める必要があるとして、市営四方嶺住宅跡地に特養ホームの整備を行うとしました。  
その他2つのゾーンはプロポーザル方式で民間に売却!  
「公園ゾーン」には、スポーツ・避難場所等に利用できる公園(約0.1ha)を、「低層住宅ゾーン」には、教室不足の懸念から低層住宅(約1.2ha)を導入。隣接する国有地の一部



市営四方嶺住宅跡地の基本ゾーン

(川崎市まちづくり局、健康福祉局 資料より)

## 施設利用料・事業系ゴミ手数料値上げ(案)「他都市より安い」が理由

スポーツセンター、市民館、余熱利用市民施設(堤根、王禅寺)、とろろきアリーナ等の利用料は1割、事業系ゴミ等の手数料を最大5割値上げする議案が提出されて

います。「他都市よりも安い」「利用しない人に不公平」が理由ですが、公共施設を安く利用できるのは、むしろ誇ることです。手数料の値上げは、苦しい経営にあ



る中小企業にとっては、死活問題にもつながる負担増です。

財政力指数は政令都市で最高、極めて健全な財政状況の川崎市です。値上げする必然性はありませ



子ども文化センターを訪問

## 子ども文化センターを訪問しました 8/26

集会室にクーラーがないこと文の利用者からの声が共産党市議団に届き、各区で訪問しました。石田市議は東高津、二子及び高津子ども文化センターを市民と訪問、多くの乳幼児および小学生や高校生まで、さらに、高齢者のふれあい事業等にも、幅広く活用されています。他の区では周辺に住宅が密集し窓も開けられないことや西日が強烈で蒸し風呂状態になるところもあり、代表質問で、集会室にクーラーがない施設の設置を求めました。



市民団体のみなさんと懇談しました

## 多くの市民団体と懇談 市民要求の実現へ

共産党市議団は、7月中旬から下旬にかけて、川崎市の予算編成に向けて、合計21の市民団体・各種団体の皆さんから要望をうかがう懇談会を行いました。

自閉症協会の方々からは「発達障害・自閉症スペクトラムの子を持つ親に、同じ思いをしている親が相談に乗るペアレントメンター事業が実施できるように援助を」と、育成会手を結ぶ親の会からは「特別支援学校卒業生在宅ゼロ政策の継続を」と、あやめ会からは「障害者差別解消法の施行を踏まえ精神障がいに対する差別偏見をなくすために啓発活動のさらなる推進を」と、ろう者協会からは「情報文化センターへ、バス路線を通してほしい」。視覚障害者福祉協会からは「溝口駅から北部身体障害者福祉会館までの点字ブロックの敷設や宮の下交差点の信号機に音響式メロディーの設置を」が寄せられ、早速、高津区役所及び高津警察署に要望しました。  
また、川崎市助産師協会からは「市から委託している産後ケア事業のニーズが高く予算を増やしてほしい」。川崎建設業協会からは「災害時における川崎市との協定締結業者に係る主観評価項目の配点及びインセンティブ発注の拡大を」等、寄せていただいた要望は、共産党議員団の予算要望書に反映し、また、要求実現のために議会でも取り組んでいきます。